



ポート プロファイル継承の設定

この章は、次の内容で構成されています。

- [ポート プロファイルの継承について, 1 ページ](#)
- [ポート プロファイル継承の設定に関する注意事項と制約事項, 2 ページ](#)
- [ポート プロファイルからの設定の継承, 3 ページ](#)
- [継承されたポリシーのポート プロファイルからの削除, 5 ページ](#)

ポート プロファイルの継承について

既存のポートプロファイルからの設定を、別のポートプロファイルのデフォルト設定として適用できます。これは継承と呼ばれます。親ポートプロファイルの設定が子ポートプロファイルにコピーされ、保存されます。子ポートプロファイルで属性を明示的に設定することによって継承を上書きすることもできます。

表 1: ポート プロファイル継承の設定

ポート プロファイル設定	継承の可否	
	Yes	No
acl	○	
capability iscsi-multipath	○	
capability l3 control		○
channel group	○	
default (特性をデフォルトにリセット)	○	
description		○

ポート プロファイル設定	継承の可否	
	Yes	No
inherit	○	
interface state (shut/no shut)	○	
mtu		○
name	○	
netflow	○	
pinning	○	
port security	○	
private vlan configuration	○	
qos policy	○	
service-port	○	
state (enabled または disabled)		○
switchport mode (access または trunk)	○	
system vlan vlan list		○
virtual-service-domain	○	
vlan configuration	○	
vmware max-ports		○
vmware port-group name		○

ポート プロファイル継承の設定に関する注意事項と制約事項

- 継承されたポート プロファイルは、Cisco Nexus 1000V CLI を使用して変更したり、インターフェイスから削除したりできません。このような操作は、vCenter Server を使用する場合だけ実行できます。

- ポートがホストに接続されている場合、継承されたポートプロファイルはCisco Nexus 1000Vによって自動設定されます。これは、システム管理者によって割り当てられたVMwareポートグループを作成元のポートプロファイルと比較することによって行います。
- ポートプロファイルの設定を直接変更すると、その設定は継承された設定よりも優先されません。
- また、ポートプロファイルの継承を明示的に削除することもできます。削除すると、ポートプロファイルは、直接設定されたものを除いてデフォルト設定に戻ります。詳細については、[継承されたポリシーのポートプロファイルからの削除](#)、(5 ページ) を参照してください。
- Cisco Nexus 1000V ソフトウェアは最初に設定する必要があります。詳細については、『*Cisco Nexus 1000V Installation and Upgrade Guide*』を参照してください。
- Cisco Nexus 1000V は vCenter Server に接続する必要があります。
- ポートプロファイルを作成したあとで、そのプロファイルのタイプ（イーサネットまたは vEthernet）を変更できません。

ポートプロファイルからの設定の継承

この手順を使用すると、既存のポートプロファイルからの設定を別のポートプロファイルのデフォルト設定として適用することができます。

[表 1: ポートプロファイル継承の設定](#)、(1 ページ) に示すポートプロファイルの特性と、これらが継承できるかどうかを理解しているものとします。



ヒント

ポートプロファイルのタイプを別のポートプロファイルから継承できません。

はじめる前に

- EXEC モードで CLI にログインしていること。
- 使用する設定が定義されているポートプロファイルを特定するには、**show port profiles** コマンドを使用して既存のポートプロファイルを表示します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	switch# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 2	<code>switch(config)# port-profile [type {ethernet vethernet}] name</code>	<p>名前付きポート プロファイルのポート プロファイル コンフィギュレーションモードを開始します。ポート プロファイルがない場合は、次の特性を使用して作成されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • name : ポート プロファイルの名前は最大 80 文字で、Cisco Nexus 1000V 上の各ポート プロファイルに対して一意である必要があります。 • type : (任意) ポート プロファイル タイプはイーサネットまたはvEthernetです。設定が完了すると、タイプは変更できません。デフォルトは vEthernet タイプです。 <p>ポート プロファイル タイプをイーサネットとして定義すると、ポート プロファイルを物理 (イーサネット) ポートに使用できます。vCenter Server では、対応するポートグループを選択し、物理ポート (PNIC) に割り当てることができます。</p> <p>(注) ポート プロファイルを Ethernet タイプとして設定すると、VMware 仮想ポートの設定には使用できなくなります。</p>
ステップ 3	<code>switch(config-port-prof)# inherit port-profile name</code>	指定したプロファイルの継承された設定を、デフォルト設定として追加します。
ステップ 4	<code>switch(config-port-prof)# show port-profile [brief expand-interface usage] [name profile-name]</code>	(任意) 確認のためにコンフィギュレーションを表示します。
ステップ 5	<code>switch(config-port-prof)# copy running-config startup-config</code>	(任意) リブートおよびリスタート時に実行コンフィギュレーションをスタートアップコンフィギュレーションにコピーして、変更を永続的に保存します。

次に、別のポート プロファイルのポート プロファイル設定を継承する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# port-profile AllAccess2
switch(config-port-prof)# inherit port-profile AllAccess1
switch(config-port-prof)# show port-profile name AllAccess2
port-profile AllAccess2
description:
type: vethernet
status: disabled
capability l3control: no
```

```

pinning control-vlan: -
pinning packet-vlan: -
system vlans: none
port-group:
max ports: 32
inherit: port-profile AllAccess1
config attributes:
evaluated config attributes:
assigned interfaces:
switch(config-port-prof)#

```

継承されたポリシーのポートプロファイルからの削除

継承とは無関係に設定されたポリシーは、継承を削除しても削除されません。継承だけによって設定されたポリシーだけが削除されます。

はじめる前に

コンフィギュレーションモードで CLI にログインします。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	switch# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	switch(config)# show port-profile virtual usage name profile_name	(任意) 指定したポートプロファイルの、継承されたポリシーを表示します。
ステップ 3	switch(config)# port-profile name	名前付きポートプロファイルのポートプロファイル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 4	switch(config-port-prof)# no inherit port-profile profile_name	継承されたポリシーを、指定したポートプロファイルから削除します。 継承されるポリシーに依存せずに明示的に設定されたポートプロファイルタイプと任意の設定を除き、ポートプロファイルの設定はデフォルトに戻ります。
ステップ 5	switch(config-port-prof)# show port-profile virtual usage name profile_name	(任意) 削除の確認のために、継承されたポリシーを表示します。
ステップ 6	switch(config-port-prof)# copy running-config startup-config	(任意) リブートおよびリスタート時に実行コンフィギュレーションをスタートアップコンフィギュレーションにコピーして、変更を永続的に保存します。

コマンドまたはアクション	目的
--------------	----

次の例では、継承されたポリシーをポート プロファイルから削除する方法を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# show port-profile virtual usage name AccessProf
switch(config)# port-profile Access4
switch(config-port-prof)# no inherit port-profile AccessProf
switch(config-port-prof)# show port-profile virtual usage name AccessProf
switch(config-port-prof)# copy running-config startup-config
```